

呼吸器外科の受け持ち範囲は肺癌、気胸などの肺疾患の他、縦郭、胸膜、胸壁、横隔膜、胸腔、胸部神経など、胸部にある心臓と食道以外の外科的疾患全てです。常に呼吸器内科と連携をとって治療方針を決定し、検査から手術、抗癌剤など術後の治療へと円滑な治療が可能となっています。手術は低侵襲な（体への負担が少ない）胸腔鏡手術を中心にっており、手術全体の9割が胸腔鏡で可能です。2022年3月からは最新の手術ロボットである、「ダビンチXiサージカルシステム」を用いた「ロボット支援下胸腔鏡手術」を開始し、更に精密で侵襲（体の負担が少ない）手術が行えるようになりました。また、生検といって病気の診断のため肺や胸腔内の組織をとる必要がある場合があり、そのような検査のための胸腔鏡手術（審査胸腔鏡）も積極的に行っています。一方で進行癌に対する根治手術は開胸して気管支、血管、胸壁などを合併切除する必要があり、大学や心臓血管外科とも協力して行っています。当院は救命救急センターを有する救急指定病院であり、交通事故などで多発外傷を負った患者さんも多く運ばれてきます。呼吸器外科ではこのような患者さんの治療も、外科、救急科を始めとした各診療科を始めとした各診療科と協力しながら行っています。

肺癌、肺腫瘍 気胸、血胸 膿胸、肺膿腫 肋骨・胸骨骨折、肺挫傷など胸部外傷
縦郭腫瘍 胸腺腫・重症筋無力症 胸膜、胸壁、横隔膜疾患 胸管、神経疾患

医師名	役職	専門分野/認定・専門等	卒業年次
ふくなが あきら 福永 亮朗	院長補佐 部 長	専門分野： 呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、一般外科 日本外科学会認定医、専門医、指導医 日本呼吸器外科学会専門医 日本消化器外科学会専門医、指導医 精中委マンモグラフィ読影医 医学博士 消化器がん外科治療認定医 胸腔鏡安全技術認定医 Certificate of da Vinci system training as a console surgeon 日本内視鏡外科学会技術認定医（呼吸器外科） 乳腺認定医 Robo-Doc Pilot Japanese ClassB 日本呼吸器外科学会 ロボット支援手術プロクター	平成8年
なかや たくみ 中谷 匠	医師		令和3年

診療予定表

(午前 8:00~11:30 午後~15:30)

	月	火	水	木	金
午 前	休 診	休 診	休 診	福 永	休 診
午 後	休 診	休 診	休 診	福 永	中 谷

診療実績 (2023年1~12月)

項目	患者数
外来新患数	125
外来延数	788
新入院数	145

主な手術実績 (2023年1~12月)

項目	件数	項目	件数
創傷処理	7	肺切除術	2
デブリードマン	1	胸腔鏡下肺切除術	16
動脈（皮）弁術	1	胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術	4
骨折非観血的整復術	1	胸腔鏡下良性胸壁腫瘍手術	1
一時的創外固定骨折治療術	1	胸腔鏡下肺縫縮術	4
肋骨骨折観血の手術	1	肺悪性腫瘍手術	2
肋骨切除術	1	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術	66
胸腔鏡下試験切除術	2	胸腔鏡下（腹腔鏡下を含む）横隔膜縫合術	1
胸腔内（胸膜内）血腫除去術	1	胸腹裂孔ヘルニア手術	1
胸腔鏡下胸腔内（胸膜内）血腫除去術	2		
胸腔鏡下膿胸腔搔爬術	10	上記項目の内、ダヴィンチを使用した件数	件数
胸郭形成手術	2	胸腔鏡下拡大胸腺摘出術	1
胸腺摘出術	1	胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術	3
胸腔鏡下拡大胸腺摘出術	1	胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術	2
胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術	3	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術	52

診療部長よりひとこと

2019年4月より赴任し、年100件程度の呼吸器外科手術を行ってまいりました。このうちの約半数は肺癌です。肺癌は癌の中でも進行が早く悪性度が高いとされていますが、一方で早期発見し手術を含めた根治治療ができると、高い確率で治療が見込める事も知られています。最近肺抹消の小結節で、気管支鏡等による確定診断が困難な肺癌疑い病変に対し、診断的治療として胸腔鏡下術を行う例が増えています。術前の画像で肺癌と判断したうちの9割以上が早期肺癌です。当院では侵襲の少ない胸腔鏡手術、肺切除量の少ない区域切除を積極的に行い良好な成績を得ていますが、2022年3月よりロボット支援下肺悪性手術ができるようになり、更に精密で侵襲の少ない手術が可能となっています。小さな病変でも肺癌の可能性がございますので、ちょっとした異常陰影であってもいつでもご紹介ください。

また、従来外科と協力して診療を行ってまいりましたが、2022年4月より呼吸器外科専任医が増員となり、更に診療体制が充実しました。気胸、膿胸、胸部外傷といった救急疾患・外傷も24時間体制で受け入れておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。



ダビンチXiサージカルシステム



VATSの手術風景：5mmの細かいカメラを胸腔内に入れ、大きく映したモニターをみながら手術を行います。



外科・呼吸器外科スタッフ
前列右から二人目中谷Dr.、
三人目福永